

大地と炭

—現代アート最前線—

長谷川千賀子の展開

いのちはどこからやってきたのか
呼吸のひとたびひとたび

植物が作りだした酸素を肺に満たし
田畑からの炭素水素化合物をいただく

日々刻々

炭素エネルギーはわたしたちの血のなかで燃え動く
土のなかで有機物はおびただしい微生物や水に迎えられ
整然と整列した微細な粘土結晶に分け入り
分解され結合された炭素は再び
植物の器官のなか太陽と出会う

大宇宙の彼方のできごとが

小宇宙の土の粒子のなかで重なる

いのちの瞬間の出来事も

始原から続く時間のなかでの分解と生成に負う

炭化はいのちの生育に欠かせぬステップでありリングだ

人は長い間つい最近に至るまで

野焼きや炭焼きをし堆肥を積み

大地への感謝のなか

育んでくれたものを愛で食し

生活のなかでつくったすべてを

また土のいのちへ戻し炭素を循環させていた

風のなかにあったものが再び土のなかへ分け入る

切り身になった今

大地は採掘され売られ消費されて

三億年の時間をかけて形成された石炭や石油も

炭素として土にもどることなく消えようとしているけれど

大地の懐にあつてすべての生命はライフタイムを刻んでいる

存在するものはそれぞれ内（うち）に

個々の記憶の歌と個々の時間をもっている

そして一瞬のうちに

銀河の風のなか空の源へもどる



2019年 9月9日(月) — 30日(月)

10:00-18:00 | 休館日:日曜日 | 観覧無料

主催:株式会社 平成建設 | 後援:世田谷区

 平成建設

平成記念美術館 ギャラリー

食物残渣や衣類、電話帳など様々なものを炭に焼く。
人間が消費するほとんどすべてのものを炭化することができる。

～共に創り上げていく働きかけ～ 未来への提案としてのアート

「土や風、草や田んぼや畑、木からあまりにも多くのことを受け取っている。皆さんの創造の芸術と、私たち農民の作物をうみだす力は同じように感じている。集落の棚田をキャンパスに、『野良の芸術』のような企画ができないのか」福島県二本松市の農家、菅野正寿さんからそのように言っていたのは3年程前のことでした。それから準備に取り掛かり、昨年現地で粘土制作のワークショップを行い、穴窯で焼成、畦に佇む協働作品となりました。秋には『野良』への思いを積み上げて『もみ殻燐炭野焼き』を発信。出来上がった『もみ殻炭』は有機物と共に熟成して、良き肥やしとなります。

今回の展示では、その当時の様子をパネルで展示したり、私が制作してきたいま市や川越市で使用した『燐炭焼き』の煙突ダクト・オブジェ作品を含めたインスタレーションをお楽しみください。

〈文：長谷川千賀子〉



長谷川 千賀子
HASEGAWA Chikako

東京都生まれ 世田谷区在住
1977 多摩美術大学彫刻科卒業
1979 同大学大学院修了
1983 彫刻個展 17回（～2015）
1991 レニャーノ国際彫刻展をきっかけに日本とイタリア両国において交流展「センツァフロンティエーレ展」17回
2007 第16回ランドスケーププランナー（シンポジウム ドイツ）
2010 社会芸術としてプランニングチームを結成
新潟での龍神祭、SMF回遊美術館、さいたま国際芸術祭に参加、野良の藝術を企画
2014 江原朋子ダンス公演（いずれも文化庁芸術祭参加作品）では即興によるピアノ演奏を行う（～2017）

〈現在〉二科会会員（二科賞・竹の台賞・特選 受賞）、環境芸術学会会員
科学芸術学際研究所ISTA会員、日本美術家連盟会員、炭焼きの会会員



野良のアート・布沢でのもみ殻燐炭焼き／バイオチャーと言われる人為的につくられたカーボンの形体が検出され、16世紀の日本は黒ぼくの割合が世界的にみても高かったことがわかります。縄文時代以来戦後まで行われてきた有機農耕や燐炭焼きが「炭素貯留」の観点から二酸化炭素削減に欠かせません。またその煙は燐蒸作用をもったアートとして考えることができます。〈文：長谷川千賀子〉



Gallery Talk

2019年9月21日(土)
トークセッション&ワークショップ
「木と人と未来」

【トークセッション】15:00～16:30

長谷川千賀子 × 森山哲和（考古造形研究所主宰）

【ワークショップ】16:30～17:30

製材された化石樹「メタセコイア」を丸太に戻し作品化する

会場：平成記念美術館 ギャラリー 地下

参加費用：無料 小学生以上対象

製材協力：株式会社 大忠

※ワークショップは定員10名程になります。予約者優先となりますので予めご予約ください。

〈ご予約・お問い合わせ〉 ☎03-3426-1100 または下記QRコードより

※開始10分前には会場へお越しください。

※ご来場は公共交通機関をご利用ください。

※内容は変更になる場合があります。最新情報はギャラリーサイト
をご確認ください。(https://www.heiseikensetu.co.jp/gallery/)



平成記念美術館 ギャラリー

【お問い合わせ】03-3426-1103

〒156-0053 東京都世田谷区桜3-25-4

開館時間 10:00～18:00 / 観覧無料

休館日：日曜・年末年始

【電車】東急世田谷線 上町駅より徒歩10分

【バス】渋谷駅バス停 3番乗り場「成城学園前駅西口」行
渋24（東急バス／小田急バス）「大蔵ランド前」下車 徒歩1分

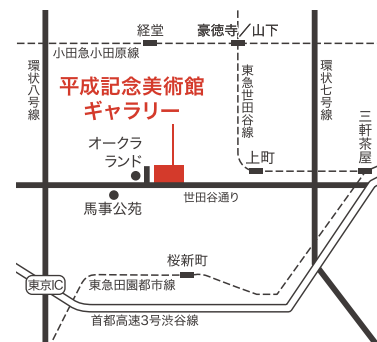
【同時開催展のお知らせ】

2019年 9月9日(月)～11月16日(土)

【次回企画展のお知らせ】

2019年 10月7日(月)～11月16日(土)

※スケジュールは予定のため、変更になる場合があります。



特別展

白眉の藝術起業家「藪明山の世界」

無鉛釉の世界

武腰敏昭、冬樹父子展